

第 74 回早稲田社会学会大会プログラム

一般研究報告（10:30～12:00）

報告者：

小林信重（東北学院大学）「「遊びの時代」の「遊び人」——1972年の堀井雄二と早稲田大学漫画研究会」

池本紗良（早稲田大学）「高校全員入学運動における「母親であること」の両義性——運動に参加した母親の教育関心の変化に着目して」

津多成輔（島根大学）「A 高校の進路指導において学力向上が重視される論理——和歌山県紀南地域に U ターン就職をした教師の語りから」

司会：栗原亘（高千穂大学）

シンポジウム（13:30～17:00）

テーマ：『関係』の現在を考える——コロナ禍以降の研究・調査・実践

登壇者（敬称略）

報告者：

関水徹平（立正大学）「オンラインでの調査・研究の経験から考える、学知の生成・伝達の変容——身体の現前に着目して」

武田俊輔（法政大学）「コロナ禍状況における遠隔地のフィールドワーク——祭礼をめぐる関係性・身体性の変容と調査の現況」

檜村愛子（愛知大学）「コロナが可視化した「身体」「場」の構造——コミュニケーション資本主義とニューロダイバーシティの観点から」

コメンテーター：嶋崎尚子（早稲田大学）・石田光規（早稲田大学）

司会者：高橋かおり（立教大学）・本多真隆（明星大学）

※ シンポジウムの主旨説明については、学会ニュース第 59 号（2022 年 4 月 28 日発行）をご覧ください。

http://www.waseda.jp/assoc-wss/news_59_2022_04.pdf

総会（17:00～）

総会には早稲田社会学会会員のみご参加いただけます。

アフターセッション（オンライン交流会）（18:00～）

※ 記録のため、本大会（アフターセッションを除く）は録画させていただきます。ご了承のほどお願いいたします。